

2012年度

第 9 回

小学生のぼうさい探検隊
マップコンクール

入選作品集



ごあいさつ

この「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」は、今回で9回目を迎えました。本年度は、47都道府県のすべてから、昨年度を2割近くも上回る過去最多の417の学校・団体、2,018点のマップの応募をいただきました。

一昨年（2011年）の東日本大震災がきっかけとなって、「ぼうさい探検隊」を新たに採用いただく小学校や団体が全国的に増えており、日頃から災害に備えることの重要性や地域一体となった防災教育や安全啓発の必要性に対する意識が高まってきたことを実感しています。

今回、全国からご応募いただいた作品はどれも、まちなかを探検して得たそれぞれの気づきや思いが伝わってくる、かけがえのない作品です。この活動に取り組んだことのない小学校や団体の方々には、まずは、この活動に取り組んでいただきたいと思います。そして、これまで本コンクールに参加された皆さんには、毎年継続していただくよう、ぜひとも宜しくお願いします。

日本損害保険協会では、防災・防犯・交通安全に取り組んでいます。その中でも、この「ぼうさい探検隊」は、児童の皆さんや地域の方々の「自分たちができることを自分たちで考え、安全で安心な未来を築く礎としての防災・安全教育」として、特に推進しているものです。

今後も、防災・安全教育の普及に向けて一層努力していく所存ですので、皆さまにも引き続きご理解・ご協力の程宜しくお願いいたします。

最後に、この活動にご賛同いただき、惜しみないご協力を賜りました政府機関、関係団体の皆さま方、マップコンクールにご参加をいただいた皆さますべてに改めてお礼を申し上げますとともに、この活動が今後のよりよい地域社会づくり、安全で安心な未来へ貢献していくことを期待いたします。

2013年2月

一般社団法人日本損害保険協会

会長 からさわ 柄澤 やすし 康喜

主催

一般社団法人日本損害保険協会／朝日新聞社／特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク

後援

内閣府／消防庁／文部科学省／警察庁／UNESCO／日本ユネスコ国内委員会／日本ユネスコ協会連盟／
全国都道府県教育委員会連合会／アジア防災センター

Contents



目次

2012年度

第9回

小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

- 審査の様子 2p
- 応募作品の傾向 3p
- 表彰式・審査総評 4~5p
- 入選作品紹介 6~23p
- 応募状況 24~27p
- 過去の入選一覧 28~29p

「ぼうさい探検隊」とは…



子どもたちが楽しみながらまちを探検し、
まちにある防災・防犯・交通安全の施設や設備を発見して
マップにまとめる活動のことです。マップ作成後は、
発表を通して活動を振り返り、学んだことを皆で共有します。
子どもたちの「安全・安心への意識」が高まるだけでなく、
まさに「地域ぐるみの安全“ 共有 ”」が着実に深まり、
コミュニティの強化にもつながります。



審査の様子



2012年度のコンクールでは、全国47都道府県の小学校や子ども会など417校・団体から2,018作品もの応募があり、厳正なる審査を重ねた結果、入選15作品を決定しました。

審査員の方々からは、「それぞれの作品に良いところがあって、どれも甲乙つけがたい」「どの作品からも、児童や地域の方々の思いがひしひしと伝わってきて、選ぶのが本当に難しい」といったご意見・ご感想をいただいています。

【審査日程】

2012年11月16日(金)～11月28日(水):事務局審査
(全作品の中から、2段階の審査を経て115作品を選出)

2012年11月29日(木):第一次審査
(外部専門家をまじえて、115作品から15作品を選出)

2012年12月11日(火):本審査
(15作品から入賞7作品と審査員特別賞8作品を決定)

2012年12月19日(水):結果発表

本審査の様子



本審査員

むろさき よしてる
室崎 益輝 氏
関西学院大学 総合政策学部 教授／神戸大学 名誉教授 (審査員長)

さとう ひろき
佐藤 浩樹 氏
文部科学省 スポーツ・青少年局学校健康教育課 安全教育調査官

よっかいち まさとし
四日市 正俊 氏
内閣府 政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当)

やまぐち ひでき
山口 英樹 氏
消防庁 国民保護・防災部 防災課長

ほりお たか
堀尾 多香 氏
文部科学省 国際統括官付(日本ユネスコ国内委員会事務局) ユネスコ協力官

もりた りょうへい
森田 良平
朝日新聞社 お客様本部 CSR推進部 部長

てらもと ひろのぶ
寺本 弘伸
特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事

むらた かつひこ
村田 勝彦
一般社団法人日本損害保険協会 常務理事

応募作品の傾向

テーマ別応募状況



審査基準

地域性・テーマ性

地域の災害や危険な場所を想定した作品作りができているか
地域災害の特性や問題点などが明確になっているか

ビジュアル性

色や写真、イラストを効果的に使用しているか
多くの人に見やすく、わかりやすい作品になっているか

提案性

子どもならではの発見やまちへの提言が書かれているか
マップを通して伝えたいことが明確になっているか

教育効果性

マップを作成するにあたり、しっかり地域を調べているか
地域住民とのコミュニケーションなどにより、多くの人から学んだ姿勢が見えるか

地域性・テーマ性 (地域災害の特性や問題点など)

◆地震や津波をテーマとした作品の中には、避難所の海拔や到達までの所要時間を多地点で詳細に調べたものや、高齢者や障がい者に同行してもらいながら避難経路を実際に歩いたものなど、災害の内容を具体的に想像しながら地域の現状を検証したという作品が増えている。

◆交通安全をテーマとした作品の中では、自転車に関する調査や提言を行なったものが昨年度よりも増えている印象を受けた。自転車の安全な乗り方について同年代や低学年にも呼びかけるなど、交通事故防止についての「当事者意識」が児童の中に芽生えている作品も見られた。

ビジュアル性 (地図としての工夫など)

◆ふせんやマークシールの色で「安全」「危険」「疑問」などをわかりやすく表現した作品が昨年度よりも増えている。
◆コメント部分に「めくり式」を採用して写真の下に個人の感想や地域への提案を記載した作品や、避難経路図や

個々の提案を「引き出し式」にして別にまとめるなど、「情報の伝わりやすさ」と「めくってみよう・引き出してみようと思わせる工夫」とを両立させている作品が増えている。

提案性 (子どもの視点でのまちへの提言など)

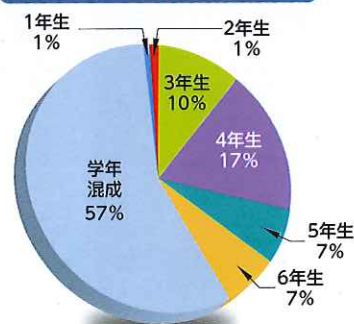
◆過去にマップを作成した地域においては、当時の気づきを参考にしながら、新たな気づきや発見に基づいて作成したマップも増えている。活動を継続することにより、児童から地域住民へのメッセージがより明快になっている。

◆近隣の中学・高校・大学・専門学校の学生と一緒に活動したり、地域の行政や自主防災組織などと連携して取り組んでいる事例もさらに増えており、より地域に密着した活動となってきている。

教育効果性 (子どもたちの防災・防犯・交通安全意識の変化など)

◆低学年と高学年の混成チームで活動したというケースは、低学年にも写真係やインタビュー係などの役割を与え、高学年はチームをまとめ全体を主導するというように分担がしっかりできているほど、作品の充実度が高い。
◆応募用紙の記述からは、地域の方へのインタビューを積極的に行う、作成したマップを使い地域住民を招いて発表会や討論会を行うといった活動を通じて、児童の社会性強化や表現力向上にもつながっていることが伺える。

学年別応募状況



表彰式



2013年1月26日(土)、東京・御茶ノ水の損保会館2階 大会議室で
第9回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式が行われました。



審査員長、プレゼンター、代表児童、指導者の方々が全員揃って記念撮影



賞状を受け取る表情は、どなたも誇らしげです



インタビューでは、皆さん緊張しながらも、堂々と受け答えされていました

主催者代表挨拶



一般社団法人日本損害保険協会
会長 柄澤 康喜

閉会挨拶



朝日新聞東京本社
編成局長補佐 岡村 邦則



ホワイエの展示作品前では、マスコミ取材も行われていました

審査総評

◆はじめに

今回のコンクールでは、応募作品の総数が初めて2,000点を超えました。参加された児童数は全国で1万3千名以上と、これも過去最多です。しかも、この活動は周囲のたくさんの方々を支えられています。私は、大人も含めて10万人近くの方がこの活動に参加されたのではないかと思います。この広がりには、とても大切なものだと感じています。

今回の特徴として感じたのは、「今後大きな災害があるだろうと予測されている地域」からのご応募が非常に多かったことです。今回参加された児童の皆さんは、10年経てば立派な若者になっています。つまり、次の大きな災害があったときには、地域の大きな力になって、多くの人々の命を救う主役になるわけです。こうした「未来の力」である皆さんが頑張って地域を検証してくれた、このことに心から「ありがとう」とお礼を申し上げたいと思います。

また、今回、参加したくてもできなかった地域もありました。東日本大震災で自分の「まち」を失ってしまった被災地域の方々です。私はこのことをしっかりと記憶にとどめ、被災地域から再び多くの作品が応募されるようになった時に、改めて心から喜びたいと思っています。

◆ 作品から伝わる、児童と地域の「心の交流」

今回、多くの作品から伝わってきたのは「探検をして楽しかった」「参加して良かった」などの児童たちの素直な気持ちです。もうひとつ伝わってくるのが、その児童たちを見守る地域の方々の温かい視線です。児童たちが地域に大きな愛情を注ぎ、それに応えて、地域の方々も愛情を返しているのです。この心の交流というのが「ぼうさい探検隊」の大きな特徴・長所ですし、活動をするプロセスの中で



審査員長

むろさき よしてる
室崎 益輝 氏

関西学院大学総合政策学部 教授／
神戸大学 名誉教授

多くの方々が「つながっていくこと」、これが最も重要です。その点では、ご応募いただいた2,000以上の作品は、全て等しく素晴らしいものだと改めて申し上げたいと思います。

◆ 「ぼうさい探検隊」の5段階活用

入選された15作品に共通しているのは、5つの段階をしっかりと踏んでいることだと感じています。

最初の段階は、「自分たちの足で歩き、気づき、発見すること」です。2つ目の段階は、「インタビューすること、訪ね歩いて対面し心で感じて学ぶこと」です。3つ目は、「自分の体で体験し、試して実感し、覚えていくこと」です。そして4つ目、これが一番大事なことです、「自問自答して考えること」です。子どもの能力は大人以上ですから、「みんなの命をどう守ろうか」と児童たちが一生懸命に考えた末に出した結論は、全て正しいといえます。最後の5段階目は「描いて伝えること」、作品にいろいろな工夫をこらして、多くの人に伝えよう・わかってもらおうという気持ちです。

この「5段階活用」を意識して活動すれば、次回はいっとうっと素晴らしい作品が増えてくるはずですが、審査する側としては今回以上に苦しむことになりそうですが、ぜひ次回も、素晴らしい作品で審査員たちを悩ませてください。

最後に、今後も「ぼうさい探検隊」の活動が継続され、また新たに広がるよう、皆さんよろしくお願ひ申し上げます。



文部科学大臣賞

6年生 5名
テーマ
防災

愛媛県愛南町立福浦小学校 「風の子ファイブ」



喜びの声



【チーム児童のみなさん】

初めて防災マップ作りに取り組んだので、毎回興味津々で活動しました。新発見や再発見をした地域探索が楽しかったし、少しずつ出来上がっていく地図を見るのも楽しみでした。こんな素晴らしい賞をいただいて最高です。

【指導された 松田 信さん】

日頃から意識している「津波から命を守る」ことを、地図上に表しました。マップ作りを通して、児童の防災意識も高まってきました。この活動の意義は大変大きいと思います。御協力いただいた方々に感謝し、この受賞を皆で喜び合いたいです。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

防災講演会での講話をもとに、津波時の避難経路をテーマとして取り組んでいる。地域の実情に密着したテーマ設定という点が非常に優れている。

ビジュアル性

台紙を使って写真とコメントをまとめており、地図としても見やすい。また、学校からの避難経路を引き出し式の別マップで作成しており、児童にとって重要な情報として独立させている点も非常にわかりやすい工夫といえる。これにより、本体部分の地図に書き込みすぎず、すっきりと見やすくする効果にもつながっている。

提案性

海拔の高さを正確に調べるなど、フィールドワークを丁寧に行っている。また、気付いたことをもとに区長(自治会長)を通じて町への要望を実現させていたり、町に対して直接報告も行っていたりするなど、児童の取り組みが地域全体に広がりを持っている点も素晴らしい。

教育効果性

事前学習にもしっかりと時間をかけて、全体のレイアウトや写真の工夫、コメントの内容などを丁寧に練ったことが伝わってくる作品。高齢者についても、独居か夫婦のみかといった点まで詳細に調べており、時間をかけて粘り強く取り組んだことがよくわかる。





防災担当大臣賞

4~6年生 13名
テーマ
防災

たま がわ

東京都玉川消防少年団

「玉川消防少年団ぼうさい探検隊」

真沢防災マップ

玉川消防少年団

真沢交和会の方に開きました!

- ★ 真沢地区は、昔が人が多く住んでいた、歴史のある街です。
- ★ 古い建物が多くあり、お年寄りも多く住んでいます。
- ★ 交和会の地区にもお年寄りが282名おり、交和会の人達が見守り活動をおこなっています。
- ★ 東日本大震災の時に人が倒れた事があった、地盤が弱い場所もある。

MEMBER

達也 あつ 佳苗
さやか ゆうし 暖樹 瑠空
みう 恵香 春菜
田舎 吉川
矢島

真沢で
大きな地震が起きたら危険だと感じたこと

- ★ 真沢4丁目地区は、線路に囲まれていて、お年寄りの人が大変だと思います。
- ★ 山手通りのところに電車が止まっていたら、人も車も通れない。
- ★ 線路に囲まれた場所の中で火災が起きたら、消防車や救急車がこぼれにくい。
- ★ 古い軒先や古い家カが、たくさんあるので、いかに倒れたり、こぼれたりするかわからない。
- ★ お年寄りにたくさんいる街なので、1人ではお年寄りができないと思います。
- ★ 大きな病院が1つしかないのでも、けがをした人は大変です。
- ★ 地震があまり強くないので、そのうえに家があるのは、危ない。

東横線 大井町線 東急電鉄

真沢の方に開きました!

★ 真沢地区は、昔が人が多く住んでいた、歴史のある街です。

★ 古い建物が多くあり、お年寄りも多く住んでいます。

★ 交和会の地区にもお年寄りが282名おり、交和会の人達が見守り活動をおこなっています。

★ 東日本大震災の時に人が倒れた事があった、地盤が弱い場所もある。

★ 真沢地区は、昔が人が多く住んでいた、歴史のある街です。

★ 古い建物が多くあり、お年寄りも多く住んでいます。

★ 交和会の地区にもお年寄りが282名おり、交和会の人達が見守り活動をおこなっています。

★ 東日本大震災の時に人が倒れた事があった、地盤が弱い場所もある。

事例

- 街路消火器
- 震災対策用井戸
- 防災無線
- ぶらりり
- 傘と通気口

もしも? 地震が起きたら……

自分ひとりでやるのではなく、お年寄りに声をかけて、一番近い大人を呼ぶように思います。 恵香

消防車が来たときに危ないかもしれないので、大事にしたいと出でたいように思います。 矢島

もし大震災が起きたら、消火器やD検車が役に立って、消火したいと思います。 さやか

けがをした人がいたら、助けてあげたいと思います。 田舎

みんなが一緒にいたら、みんなの声をかけて安心な場所に住みます。 ゆうし

井戸場所が危ないのとお年寄りに声をかけて、一番近い大人を呼ぶように思います。 恵香

消防車が来たときに危ないかもしれないので、大事にしたいと出でたいように思います。 矢島

もし大震災が起きたら、消火器やD検車が役に立って、消火したいと思います。 さやか

けがをした人がいたら、助けてあげたいと思います。 田舎

みんなが一緒にいたら、みんなの声をかけて安心な場所に住みます。 ゆうし



喜びの声



【チーム児童のみなさん】

みんなと一緒に歩いて、お話を聞いたことで、危険な場所を改めて知ることができました。これから大きな災害がおきたときには、お年寄りや地域の人にも声をかけて、一緒にひなんしようと思います。

【指導された 粕谷 正己さん】

団員達が、地域の方々のご協力を頂き、防災について真剣に取り組みました。その結果が受賞に繋がって、大変うれしく思います。今後も少年団活動を通じて、家族・友人・地域へと防災の輪を広げていきたいと思っています。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

3本の線路に囲まれた地域である点に着目し、まちなか探検を実施している。「火災時に線路の影響で消防車や救急車が来れないかもしれない」という発見は、今後の地域防災への取組みの出発点として、非常に大きな気づきといえる。

ビジュアル性

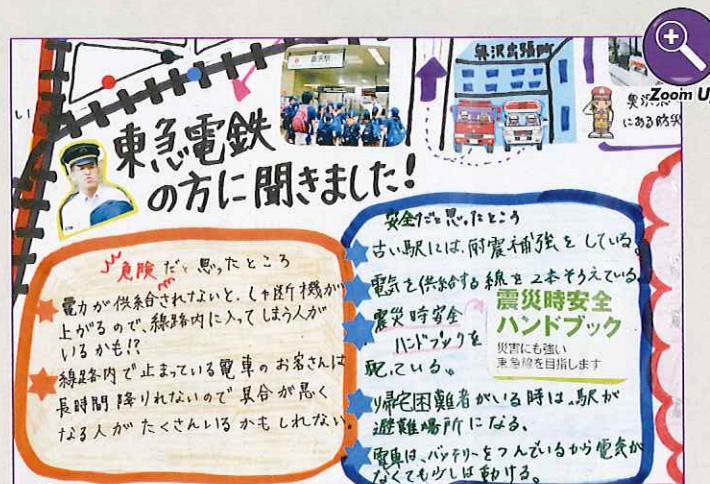
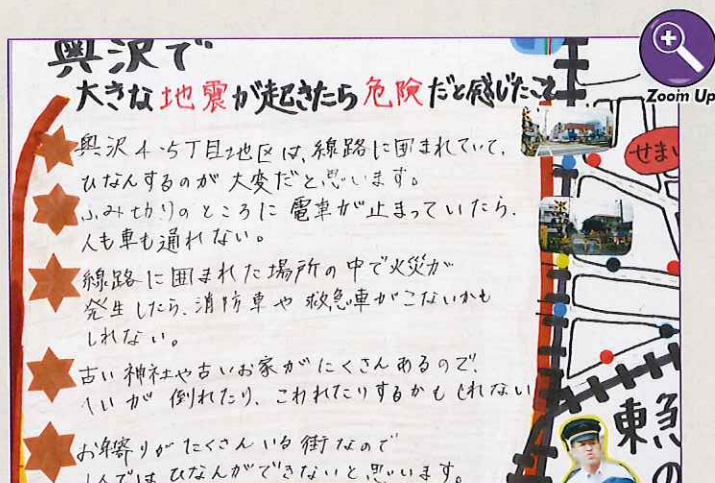
地域のランドマークや防災上の要所・拠点をきちんと押えており、見やすい作品となっている。写真を小さめに配置している点も、地図そのものをすっきりと見やすくしている。

提案性

危険な箇所について、単に「危険」というだけでなく、その理由も調べている。また、危険な箇所のほか安全に関する箇所も調べており、作品全体の提案力を増している。

教育効果性

3班に分かれてまちなか探検しており、各班での協力や異なる学年間の協力が伺える作品である。また、地域の高齢者へのインタビューを通じて、災害弱者である高齢者の存在に児童自身が気付いており、高い教育効果が感じられる。





消防庁長官賞

6年生 7名
テーマ
防災

たか せ 大分県高瀬少年消防クラブ 「6年生チーム」



VOICE

喜びの声



【チーム児童のみなさん】

九州北部豪雨は、ぼくたちがそうぞうした以上に被害がひどくびっくりしました。被害に合わないためには、早く逃げる勇気が必要な事を書いたマップが、すごい賞をもらえてとってもうれしいです。

【指導された 金子 徹さん】

「消防庁長官賞」という輝かしい賞を受賞出来た事に、子ども達の果てしない可能性を感じるとともに驚きでいっぱいです。小学生最後の年となる少年消防クラブ活動において大きな功績を作り上げた子ども達に乾杯です。

平成24年8月22日、私たちは日田市の九州北部豪雨についていくつもの被害のあった場所へ防災探検に行きました。道路が川の上になり大きな石が穴などにたくさん流れてきたのに人的被害が全くでなかつた綿打地区にびっくりしたのでマップに書く事にしました。

下14九州北部豪雨

「綿打地区を救った奇跡の言い伝え」

高瀬少年消防クラブ

私たち少年消防クラブは平成21年に5名で結成し、現在4年生、5年生、6年生の20名で活動しています。



綿打地区の自治会長さん(お寺のおいさん)が3つ教えてくれました。
みんなが安全にひなんできた理由
①災害が朝だった。(ほわり)が明るかったので、みんなが安全にひなんできた。
②災害があつた日は、みんなで地区の事を考える事から、(みんなが早かり)のために早く起きていすいで逃げた。
③川の水が黒く大きな災害があるという伝説があつたから、(川の土流)で大きな穴が開く事が発生し、(土砂)が流れてきたから。
まとめ
昔から大きな災害がくる時には、悪い水が流れてくるという一つの悪い「言い伝え」が多くあつて、みんなにそのことを知らせたのが綿打地区全体の人の命を助けたことにとっても感動した事だと思います。

（ぼうさい探検の1日）

- ① 消防探検隊として大雨が降ったのが一瞬、探検隊も警戒しました。
- ② 防災探検隊として、災害が起きた時に、みんなが早く逃げました。
- ③ 防災探検隊として、災害が起きた時に、みんなが早く逃げました。
- ④ 防災探検隊として、災害が起きた時に、みんなが早く逃げました。
- ⑤ 防災探検隊として、災害が起きた時に、みんなが早く逃げました。
- ⑥ 防災探検隊として、災害が起きた時に、みんなが早く逃げました。
- ⑦ 防災探検隊として、災害が起きた時に、みんなが早く逃げました。
- ⑧ 防災探検隊として、災害が起きた時に、みんなが早く逃げました。
- ⑨ 防災探検隊として、災害が起きた時に、みんなが早く逃げました。
- ⑩ 防災探検隊として、災害が起きた時に、みんなが早く逃げました。
- ⑪ 防災探検隊として、災害が起きた時に、みんなが早く逃げました。
- ⑫ 防災探検隊として、災害が起きた時に、みんなが早く逃げました。
- ⑬ 防災探検隊として、災害が起きた時に、みんなが早く逃げました。
- ⑭ 防災探検隊として、災害が起きた時に、みんなが早く逃げました。

日田市の水害の被害
 被害状況 死者1人
 全壊11棟
 半壊14棟
 一部損壊20棟
 床上浸水655棟
 床上浸水197棟
 道路の被害155件(農地2970)

「これまでになく経験したことの無いような大雨」とは、被害にあわないためには、早く逃げる勇気が必要だ!

評価されたポイント

地域性・テーマ性

7.14九州北部豪雨で児童が初めて経験した「水害」をテーマにしたところは、地域性・テーマ性に加えて、時事性にも富んでいる。「綿打地区を救った奇跡の言い伝え」というタイトルも、見る人を惹きつける。

ビジュアル性

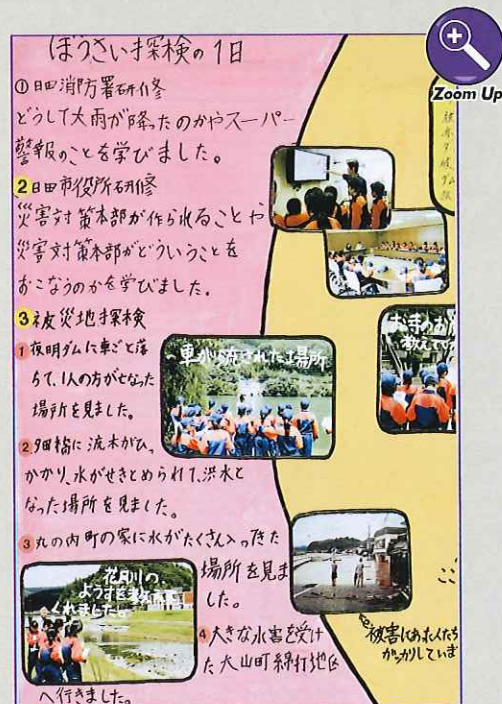
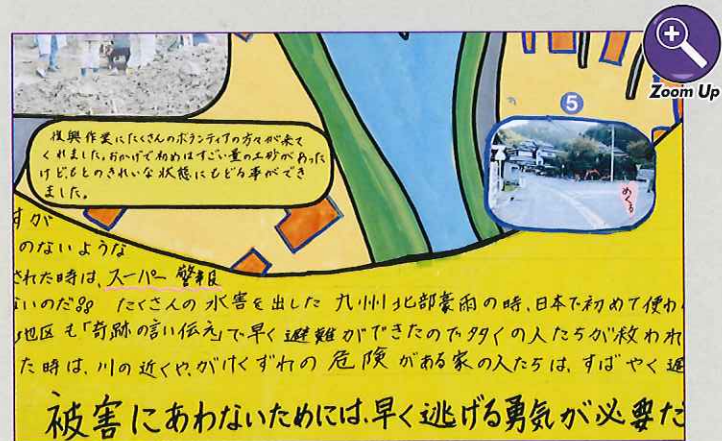
マップがシンプル化されており、見やすい。また、エリアに網掛けをしたことで、その地域の被害の大きさが強く伝わってくる。写真についても、豪雨当日の写真と同じ構図で探検時の写真を重ねて貼っており、被災当時の状況をわかりやすく伝える優れたアイデアといえる。

提案性

自治会長にインタビューすることで、昔からの言い伝えなども踏まえ「早く逃げる勇気が必要だ」と提案しており、メッセージに重みを増している。地域が一体となって取り組んだことが伝わってくる作品であり、地域を巻き込んで防災教育を実施することにより成果を高めることができるということを再認識させてくれる。

教育効果性

地元消防署や市役所などで丁寧に事前学習したことや、自治会長をはじめ各所でインタビューしながらマップを作成したことなど、学習の流れも記載されており、深い学びとなっている。





まちのぼうさいキッズ賞

(日本ユネスコ国内委員会会長賞)

1年生 3名
テーマ
防災・防犯・交通安全

かいなん 沖縄県那覇市立開南小学校 「いつでもどこでもえがおチーム」



喜びの声

VOICE



【チーム児童のみなさん】

仲良しの3人で賞をもらうことができ、とてもうれしいです。まち探検のインタビューは最初緊張したけど、みんなで声をあわせたら楽しくなりました。マップは見る人が「えがお」になるようにがんばって作りました。

【指導された 上原 之映さん】

一年生なので、危険な場所と理由を考えることと、優しい人や安全な場所もたくさんあることを知る楽しいマップ作りを意識しました。子ども達の友情も深めることができ、協力して下さった多くの皆様に感謝しています。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

児童が通う小学校の周辺を探検し、こども110番の凡例を笑顔マークで表示して「笑顔になれる場所がたくさんある地域にしよう」という思いが伝わってくる。シーサーや石敢當(いしがんどう)など沖縄らしい写真も散りばめられており、地域性も出ている。



ビジュアル性

1年生が一生懸命作ったことが伝わってくる、見ていて楽しい作品である。どうして安全なのか、どうして危険なのかを見る人にも考えさせるために、写真やマークの下にめくり式でコメントを記載しているのも良い工夫。

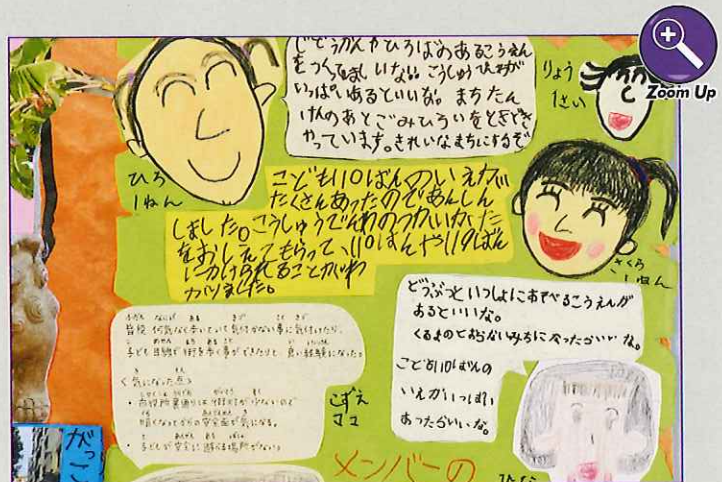


提案性

警察やホテル、コンビニなど、11箇所インタビューを行っており、児童の意欲が強く感じられる。コメントの内容も説得力があり、どう対処すべきかまでしっかりと記載されている。

教育効果性

1年生が主体にもかかわらず、自らの足で多くの情報を引き出しており、頑張りが感じられる。まちなか探検を通じて、こども110番に関心を持ったとのことで、日常生活に直結する体験学習となったことが見てとれる。





未来へのまちづくり賞 (朝日新聞社賞)

2~6
年生 14名
テーマ
防災

あらしま 三重県鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」

安楽島ぼうさいマップ

～町の4ヶ所からの避難コースを調べました～

おじいちゃんおばあちゃん安心な場所まで
何分かかかるの？

ぼうさい探検の感想

◎お年寄から昔の台風や津波のことを聞きながら歩きました。安政の大地震で安楽島も津波の被害を受けていることも教えてもらいました。もっと話を聞きたいと思います。友だちや家族にも話したいと思います。

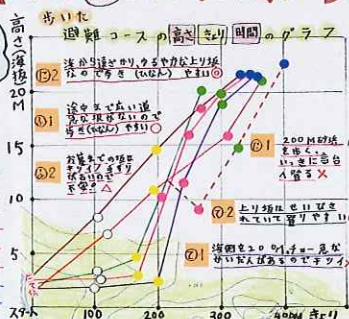
◎高台(避難場)へは、危なげり坂が多いです。お年寄には手助けがいると思います。その時は、私たちが助けたいです。

◎津波警報が出たらすぐに高台へ逃げることをみんなで話し合いました。今回歩いて調べた結果は、お年寄もすぐに避難すれば高台へ行けることが分かりました。町の人たちに知ってもらいたいです。

◎今回歩いたコースは、友だちや家族と一緒に、また、歩いてみたいと思います。

- 赤木 一隆◎ 内野 スズ◎
- 藤村 来唯◎ 宮澤 夏哉◎
- 赤木 隆一◎ 寺本 優希◎
- 尾崎 柊斗◎ 龍野 達◎
- 小林 真由◎ 小林 真人◎
- 中村 海輝◎ 原田 和花◎
- 寺本 紀宏◎

安楽島キッズ探検隊
2012.10.14(日)



喜びの声



【チーム児童のみなさん】

町内のおじいさん、おばあさん達に声をかけて一緒に「津波の時どこに逃げたら良いか」を調べ避難の体験をしました。疲れて大変かな、と心配したけどけっこう楽しそうでした。

【指導された 中村 欣一郎さん】

今回中心になって活躍した子ども達は幼い頃からの参加者です。みんなおとなしいのですが、防災意識はなんとなく身に染み付いているようで、逃げるのは筋金入り。東京での表彰式も、活動の励みになっていたようです。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

津波が押し寄せてきた際に、高齢者が避難場所までたどり着くまでの所要時間を良く調べている。地域性だけでなく、児童の優しさも感じられるテーマである。これまで継続して活動してきた成果が、テーマ設定の深まりや具体性につながっている。

ビジュアル性

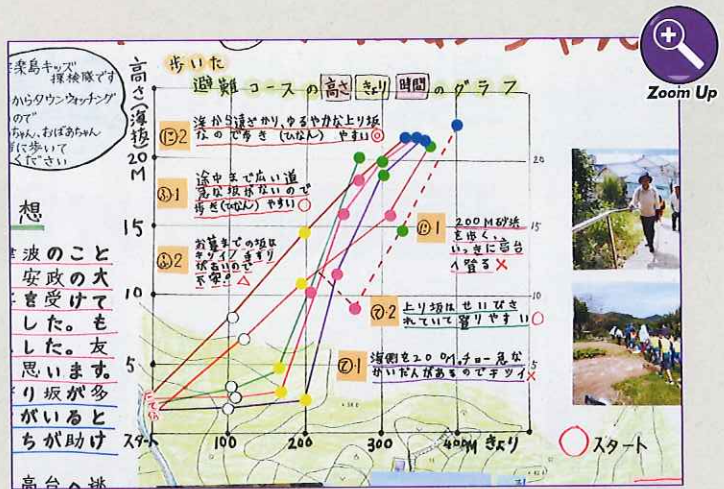
写真を多く使用しているが、全体的にシンプルで見やすく仕上がっている。地域の高齢者と実際に歩いた経路がよくわかるだけでなく、グラフを併用し、移動距離と標高・所要時間を示している点も非常にわかりやすい。

提案性

児童が地域の高齢者と一緒に自分たちの足で確認しているため、強い説得力をもった作品となっている。地域の高齢者が助かるためにどんなことをしたら良いだろうかと、児童が自ら一生懸命に考えたことが伝わってくる。「高齢者であっても、すぐに避難すれば数分で避難場所まで行ける」という実証は、地域に対する力強い提案であるといえる。

教育効果性

地域を巻き込み、地域全体で取り組んでいるところがよい。地域のことが好きで、もっと良いまちにしたいという児童の思いは、いわば防災の基本であり、それが作品全体から感じられる。



だちや家族にも話したいと思います。
 ◎ 高台(避難場)へは、急な登り坂が多いです。お年寄には手助けが欲しいと思います。その時は、私たちが助けたいです。
 ◎ 津波警報が出たらすぐに高台へ逃げることをみんなで話し合いました。今回歩いて調べた結果は、お年寄もすぐに避難すれば高台へ行けることが分かりました。町の人たちに知ってもらいたいです。
 ◎ 今回歩いたコースは、友だちや、家族と一緒に、また、歩いてみたいと思います。





わがまち再発見賞

(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

5年生 16名
テーマ
防災

宮城県大崎地域広域行政事務組合加美消防署

「宮城県カッパのふるさと色麻町」



VOICE

喜びの声



【チーム児童のみなさん】

全国の多くの作品から素晴らしい賞に選ばれて、とてもビックリしています。みんなと協力して防災マップ作りを行い、地域防災のことが勉強になりました。今回学んだことをいかして、災害の時には助け合いたいと思います。

【指導された 遠藤 博樹さん】

地域防災の一環として、防災探検隊を結成し指導に当たりました。受賞に際して、消防署員一同、携わった関係者全体で喜んでおります。地域の特性や伝統をマップに盛り込み、防災の意識を最大限に伝えることが出来たと思います。



評価されたポイント

地域性・テーマ性

地域に伝わるカッパ伝説を作品全体に活かしており、地域の雰囲気が伝わってくる作品。また、東日本大震災の被災地として、「避難生活で困ったものワースト5」のインタビューも地域性がよく出ている。

ビジュアル性

発泡スチロールで建物を立体的に作成しているほか、道路による街区区分をうまく利用して写真やコメントをレイアウトしており、見やすい。

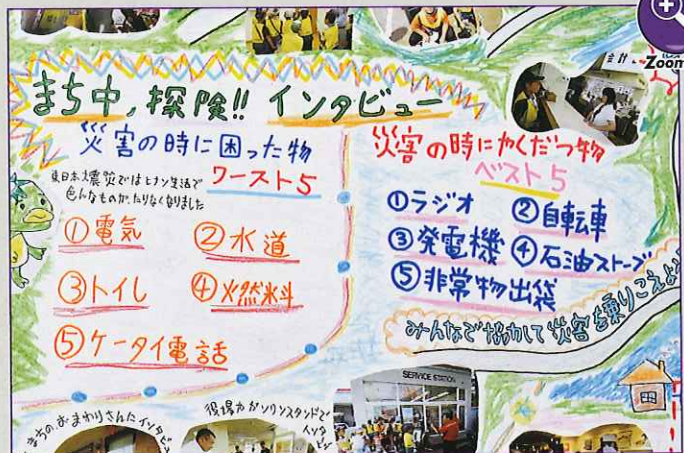
「マップの中に何びきのカッパがいるかな?」というコメントも、楽しい遊び心というだけでなく、作品全体をくまなく見てもらうための上手な工夫であるといえる。

提案性

「避難生活で困ったものワースト5」だけでなく、「災害時に役立つものベスト5」もあわせて提案している。被災地ならではの気付きや提案が盛り込まれているといえる。

教育効果性

地元企業を訪問し耐震性や防火性能を実際に体験したり、ランタンの手作りやサバメシ(サバイバル・メシタキ)体験など、マップ作りをきっかけに、非常に多くの有意義な体験をしており、効果的な体験型の防災教育となっている。





ぼうさい探検隊賞 (日本損害保険協会賞)

5・6年生 6名
テーマ
交通安全

日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「チームせんべい」

そう か

守ろう！ぼくらの自転車ライフ！！

身のまわりには危険がひそんでいる。

インタビューの計画を立てました。

- ① 自転車に乗る人の視点
- ② 自転車を運転する人の視点
- ③ 大人の歩行者の視点
- ④ 子供の歩行者の視点

「おもしろい自転車は？」「安全な自転車は？」などの質問をしました。

8月25日 谷城西南会館のイベントで
危険場所を調査する人を探しました。
9月 9日 各現場でアンケートの回収
危険場所①へ③をまわりました。

危険場所① ホームセンター

① 大人は自転車に乗る人の視点、子どもは歩行者の視点、それぞれから見た安全な自転車を探しました。
② 歩行者の視点、自転車に乗る人の視点、それぞれから見た安全な自転車を探しました。

危険場所② 谷城小学校

① 自転車が走る方向と、右の方向を見ることが、歩行者の視点、自転車に乗る人の視点、それぞれから見た安全な自転車を探しました。
② 歩行者の視点、自転車に乗る人の視点、それぞれから見た安全な自転車を探しました。

危険場所③

① 自転車が走る方向と、右の方向を見ることが、歩行者の視点、自転車に乗る人の視点、それぞれから見た安全な自転車を探しました。
② 歩行者の視点、自転車に乗る人の視点、それぞれから見た安全な自転車を探しました。

**ボーイスカウト
草加第7団
チームせんべい**

谷城西南会館の会長さんに調査のことを報告しました。

自転車は左をひと列に並んで安全に走ることを約束します。

10月14日 自分たちの役割を考えた。考えた。考えた。考えた。

交通安全のまわりと、記念撮影

調べたことを発表しました。おもしろい発表、よく調べたことほめられました。

11月1日のお楽しみ会で、自分たちの役割を発表しました。発表は、発表は、発表は、発表は。

10月14日 草加警察署 交通安全教室を開催しました。

危険場所①について
① 自転車の走行方向と、右の方向を見ることが、歩行者の視点、自転車に乗る人の視点、それぞれから見た安全な自転車を探しました。

危険場所②について
① 自転車が走る方向と、右の方向を見ることが、歩行者の視点、自転車に乗る人の視点、それぞれから見た安全な自転車を探しました。

危険場所③について
① 自転車が走る方向と、右の方向を見ることが、歩行者の視点、自転車に乗る人の視点、それぞれから見た安全な自転車を探しました。

言われたこと

1. 自転車のルールを守って、運転している人が多いため、ヘルメットの着用が義務づけられています。
2. 自転車が走るときは、歩行者の安全を優先させる必要があります。

まとめ
自転車が安全に走ることを約束し、歩行者も安全に歩きます。
1. 自転車のためのヘルメットを着用してください。
2. 自転車の止まりのサインを大きくしてください。



喜びの声



【チーム児童のみなさん】
ぼうさい探検隊賞に入選し、本当にびっくりしました。とても嬉しいです。夏休み、暑さには負けず仲間と協力し、自転車に乗って危険な場所を調べました。警察署へ行って質問したり、交通ルールを学び勉強になりました。

【指導された 濱田 真輔さん】
大変素晴らしい賞をいただき、ありがとうございました。交通量の多い国道4号線を生活圏に持つ私達にとって、交通安全は常に身近な話題となっています。近隣の多くの方々のおかげによって、スカウト達は楽しい活動を行うことができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

「守ろう!ぼくらの自転車ライフ!!」という明確なテーマで活動しており、児童にとって身近な乗り物である「自転車」をテーマにした点が良い。

ビジュアル性

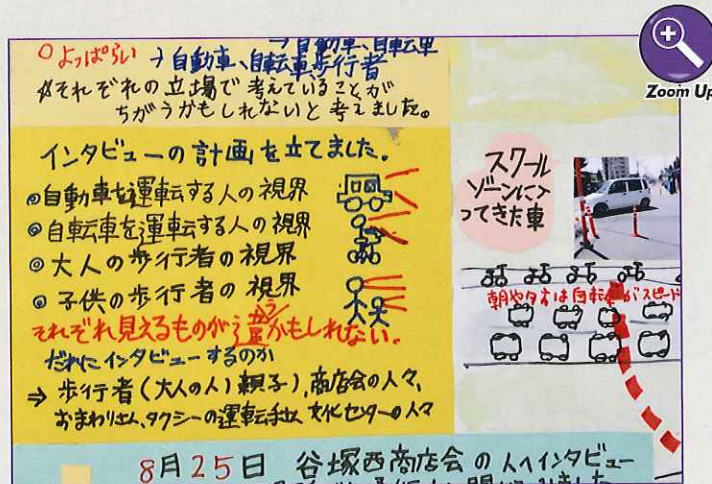
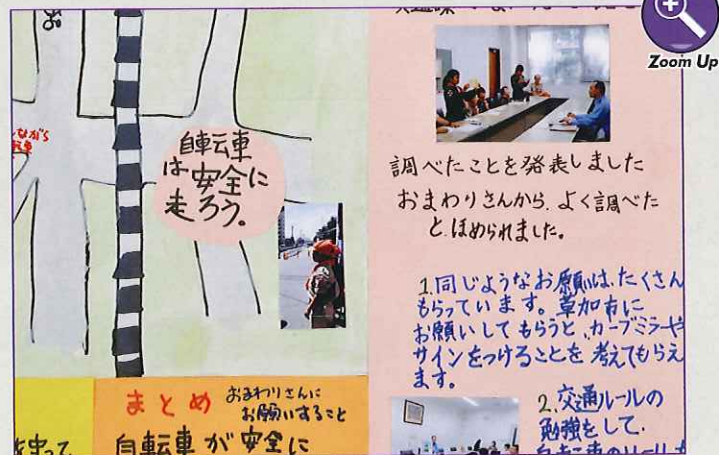
事前に選定した3箇所を中心に内容を整理しており、すっきりとして非常に見やすい作品となっている。また、危険箇所を大きな円で囲み、どうして危ないかの説明や警察への提案内容を整理している点も見やすい。細かいイラストや自転車・車のアイコン等からも、児童たちの生き生きとした様子が伝わってくる。

提案性

通行人へのインタビューを通じ判明した危険な交差点を、フィールドワークを踏まえてそれぞれ分析し、結果を気付きとして取りまとめているため、提案内容にも説得力がある。警察にも報告するなど児童が実際に働きかけている点も良い。

教育効果性

まちなか探検を始める前に児童たちで意見交換を行い、「車・自転車・歩行者がそれぞれ自分の立場のみで考えていることが交通事故の原因となっているのでは」と考察し、それを踏まえてそれぞれの立場の人にインタビューしている。学習の筋道がしっかりと論理立てされており、児童が段階的に学びを深めながら行動していることがよくわかる。





審査員特別賞

1~6年生 12名
テーマ
防災

東京都立城南特別支援学校「すずらんグループ」



評価されたポイント

地域性・テーマ性

児童が車椅子でまちなか探検をし、肢体が不自由な者の視点で気付きを整理している。この児童たちならではのテーマ設定であり、実際の防災活動においても重要な課題を指摘した作品といえる。

ビジュアル性

全体的にシンプルな印象を受けるが、地図が見やすく視認性は高い。また、コメントを丁寧に1つずつ囲んであり、見やすく工夫したことが伝わってくる。児童の表情も明るく、とても良い。

提案性

段差が無い道路やスロープなどの写真とともに、地域への批判ではなく前向きなメッセージが多く記載されていて、見る人の心を打つ。児童の写真からは、自分たちも地域の一員であることを主張しているようにも感じられ、メッセージ性の強い素晴らしい作品である。

教育効果性

交番や消防署、駅などを実際に訪問しているほか、有事の際の地元企業との協力関係など、地域との繋がりがも学んでおり、災害時の児童の不安を軽減する機会となっただけでなく、自ら助かろうとする気付きも生まれたものと思われる。はしご車や消火器などの体験も、貴重な経験。



VOICE

【チーム児童のみなさん】

審査員特別賞を受賞出来て誇りに思います。ぼくたちの心の中で印象に残ったのは、みんなで一緒に消火器などを探したり、インタビューをしたりしたこと。みんなで書いたり写真の配置を考えた所をがんばりました。

【指導された 藤田 恭平さん】

審査員特別賞を頂き大変光栄です。地域交流と子どもたちの防災意識向上をテーマに取り組みました。子どもたちは車イスで移動しながら地域を周りました。そして、たくさんの人と交流し、防災について学ぶ良い機会となりました。

5年生 8名
テーマ
防災・防犯・交通安全

福井県あわら市本荘小学校「本荘ガールズ8」



評価されたポイント

地域性・テーマ性

自分たちを災害から守ってくれるものを、「人」と「道具・建物」に分けて整理し、これらを「守護神」と位置づけている点が非常に良い。きちんとテーマを整理してまちなか探検に取り組んだ様子が伺える。

ビジュアル性

発泡スチロールでランドマークを立体的に仕上げるだけでなく、写真をその上に貼って丁寧に作り込んでいる。また、道具や建物に関しては、まちなか探検での気付きを引き出し式で別のシートに記載することで、情報量を調整しつつ、見る人の興味を惹く工夫にもなっている。

提案性

まちなか探検によって気付いた「守護神たち」を丁寧に取りまとめ、地域に対する愛着や感謝の気持ちとともに、地域住民にきちんと伝えたいという思いが感じられる。

教育効果性

まちなか探検で得た気付きを、マップ作成後に地域住民に対して発表している。学んだことや感じたことを伝えようという意欲的な姿勢が感じられ、児童自身の大きな成長にもつながっていることがわかる。



VOICE

【チーム児童のみなさん】

私たちの防災マップが審査員特別賞に選ばれてとてもうれしいです。危険、不安なところをたくさん見つけ、防災意識が高まりました。防災マップの作成に協力してくださったみなさま、どうもありがとうございました。

【指導された 番匠 裕美子さん】

子どもたちが生活する場を考えるよい機会となりました。様々な施設、設備の見学とたくさんの人に接することができたことは、とてもよい経験になりました。今回、素晴らしい賞を頂き、本当にありがとうございました。

5年生 13名
テーマ
防災・防犯・交通安全

ほそろぎ
福井県あわら市細呂木小学校「細呂木マモルンジャー」



評価されたポイント

地域性・テーマ性

防災・防火・防犯・交通安全と幅広いテーマだが、まちなか探検を「本当に安全なのか」という共通の視点で行い、それぞれしっかりと調べている。

ビジュアル性

地域の特産である柿と瓦を、イラストやキャラクターとして全体に散りばめているところが非常に良い。4つのテーマの背景に越前瓦をモチーフにしているのも素晴らしい。また、作品の下部にある児童の顔写真がどれも良い表情で、めくると各自の感想が詳細に記載されており、表情を重ね合わせて感想を読むと、楽しく取り組んだ様子がよくわかる。

提案性

4つのテーマごとに、鬼瓦のキャラクターが安全度を判定したり、クイズが出題されていたりと、見る人にも考えさせる工夫がされている。それぞれの内容も、まちなか探検を踏まえて具体的に記載されており、提案性の高さも感じられる。

教育効果性

テーマごとに担当を分けて、それを持ち寄り1枚の作品に仕上げている。自分の担当以外のテーマにも関心が広がったことがわかり、共同作業を通じた学習効果の広がりを感じられる。



【チーム児童のみなさん】

VOICE

僕たちの作品が審査員特別賞を受賞し、大変うれしく思っています。防災マップには細呂木の名産の柿や伝統工芸品の鬼瓦などを使った事が認められたのだと思います。防災マップで分かった事を災害時に役立てたいです。

【指導された 斉藤 洋さん】

防災・防火・防犯の3グループで、「細呂木地区は本当に安全か」をテーマに調査し、検証しました。地域を見つめ直したり、防災に対する意識が高まったりするいい機会となりました。その上、審査員特別賞を受賞し大変光栄です。

5・6年生 19名

テーマ
防災

ふなこし
三重県船越少年消防クラブ「船越少年消防クラブ」



評価されたポイント

地域性・テーマ性

「災害時に水もトイレも使えなかったら、どうなるだろう?」という疑問に基づいて、避難所に指定されている大規模団地について調査している。テーマの目付け所が良く、自分たちの住む団地を中心に活動しているところも、地域との密着度が感じられて良い。

ビジュアル性

ベースとなる地図がシンプルで、海拔が記載された地図に書き込んでいるため、浸水しやすいエリアもわかりやすい。まちなか探検を踏まえ、「この地域の人はここへ避難するはずだ、このエリアの人はあっちへ避難するだろう」と予測し、太い矢印で動きを記載しているところも良い。

提案性

フィールドワークを丁寧に行ったうえで、問題点を洗い出し、右下部分に提案としてまとめている。地域の現状と提案とがはっきりと記載されているため、説得力のある作品。

教育効果性

「広い団地でも、1000人もの人が避難してきたら、どうなるだろうか?」ということを具体的に想像して取り組んでいる。児童の中に共助の意識が芽生えていることが伝わってくる。



【チーム児童のみなさん】

VOICE

今回入選作品に選んでいただきありがとうございます。津波というテーマで町の人にお話を聞きながらまとめました。みんなで力を合わせてがんばりました。ぼく達のマップがみなさんのお役に立てればうれしいです。

【指導された 東 一平さん】

昨年に続き立派な賞をいただく事ができて、子供達はもちろん志摩消防署の方々や先生方も喜んで頂いています。子供達ならではの素直な疑問を調査しマップに表現してみました。また今回も地域の方に多大な御協力を頂戴しています。



審査員特別賞

2年生 2名
テーマ
交通安全

和歌山県かつらぎ町丁ノ町児童館「かつらぎあんぜんキッズ」 ちょうのまち



評価されたポイント

地域性・テーマ性

毎日通っている小学校の周辺という身近なエリアの中にどんな危ないことがあるかをまとめている。2年生らしい生活圏が感じられる、生活密着型の作品と感ずる。

ビジュアル性

地図を丁寧に記載し、コンビニや消防署など地域のランドマークをきちんと書き込んでいるところがよい。珠算教室や硬筆教室なども書き込まれており、2年生らしく微笑ましい日常感覚が感じられる。ピンク色の引き出し線を使って写真を上手にレイアウトしており、地図としてもすっきりと見やすい。

提案性

「人のためになりたい」という願いをもって取り組んでおり、児童の目線での学校周辺の危険を写真を交えてしっかりと指摘している。また、危険箇所のコメントにすべて手書きで赤く「あぶない」と書かれているところも見人の目を引き、伝えようという気持ちが感じられる。

教育効果性

まちなか探検をする前に警察署を訪問し、探検しようとしているエリアで起きた事故などについて事前に調査したうえで活動している。2年生2人で大人にインタビューするのは勇気が要ったものと思われ、そのぶん貴重な経験になったことが、児童の誇らしげな表情からも感じられる。



VOICE

【チーム児童のみなさん】

いつも歩いている通学路は、あぶないところがたくさんあります。このマップを学校みんなに見てもらいたいです。そして、みんなに気をつけてほしいです。しんさいんとくべつしょうをとれて、とてもうれしかったです。

【指導された 堤 奈緒美さん】

2年生2名でしたので、範囲を小学校の周辺に絞りました。じっくり探検してみると危険箇所は多々ありました。現状に慣れてしまっただけではないかと思いマップを作りました。すばらしい賞を頂いてとてもうれしく思います。

3年生 5名
テーマ
防災

山口県下関市立豊浦小学校「しものせきいしんたんけんたい」 とよら



評価されたポイント

地域性・テーマ性

タイトルにあるとおり、「今できること」という明確なテーマ設定が良い。歴史ある地域であることへの愛着が感じられると同時に、古い建物が多いために「今災害が起こったらどうなるか」を具体的にイメージしている点も良い。児童が地域について深く考えていることが伝わるマップになっている。

ビジュアル性

地図は比較的シンプルであるが、その分見やすく、提言を重視したことがわかる。習いたての地図記号やグラフを一生懸命に採用したところからも、3年生らしい微笑ましさを感じられる。

提案性

地域住民にアンケートを行い、現状の地域に欠けていることを調査したうえで取り組んでいる。このため、「地域のためにできること」という提案に説得力がある。

教育効果性

自分のまちを災害から守るために、まさに「今できること」を調査し、気付きや考えたことをしっかりと提案している。一連の学習を通じ、極めて高い教育効果があったことがわかる。



VOICE

【チーム児童のみなさん】

アンケートをしたり、グラフを作ったりみんなで楽しく作りました。危険なところ、私たちの住む町がわかってよかったです。災害時の用意をしている人が少ないのには驚きました。もっと多くの人に危険なところを伝えたいと思いました。また次も頑張りたいです。

【指導された 木原 健雄さん】

町中アンケート、マップ作成を通じて、親子共々、防災について学ぶことができ、子供たちは自分の住んでいる町・人・学校の授業にも興味が湧いているようです。これからもマップ作りの輪を広げながら楽しみたいと思います。ありがとうございました。

6年生 6名

テーマ
防災

こもぶち シックス
愛媛県宇和島市立蔭淵小学校「防災キッズ6」



評価されたポイント

地域性・テーマ性

土砂災害と高潮災害をテーマに、家屋の裏手がすぐに山になっていることや、台風・大潮などですぐに道路まで潮水が上がってくることなど、地域の実状をしっかりと把握している点が良い。

ビジュアル性

台紙の上に写真と一言コメントをまとめており、その地点ごとの状況が把握しやすい。
また、土石流危険箇所は赤いセロファン、崩壊危険箇所には青いセロファンを使い、マップの視認性を高めつつ情報を盛り込んでいる工夫も良い。

提案性

児童のコメントの中で、一人ひとりがそれぞれ提言を行っている。防災意識に関する地域住民へのアンケートも、作品としてのメッセージ性や説得力を高めている。「非常持ち出し袋を用意していない方が50%もある」というのは、地域に対する非常に重要な警告といえる。

教育効果性

タイトルに「お知らせ防災マップ」とあり、マップ作成にあたって目的をきちんと設定している。まちなか探検と併せてアンケートを実施するなど、教育効果の高さも感じられる。



VOICE

【チーム児童のみなさん】

地域探検で地域に出かけ、地域のことを詳しく調べることができました。6人が悩みながら協力して作った防災マップが完成したときはうれしかったです。マップが審査員特別賞に入選したと聞いたときは、みんなで喜びました。

【指導された 三谷 裕子さん】

子どもたちは、防災マップ作りにも熱心に取り組みました。地域探検をし、地域の方に教えていただくことで子どもたちは地域を再発見し、今まで以上に防災意欲を高めました。今回の受賞により防災意識が更に高まることを願っています。

5・6年生 5名

テーマ
防災

しまんと おきつ おきぞら
高知県四万十町立興津小学校「興空」



評価されたポイント

地域性・テーマ性

津波避難にテーマを絞り、スタート地点から避難場所までの時間を歩いた場合と走った場合で比較するなど、深く調べている。

ビジュアル性

写真の撮り方が上手で、たとえば防波堤と児童と一緒に撮影することで「児童の身長では海の様子が見えない」と伝えるなどの工夫がなされている。また、道路を色分けすることで、実際に歩いた・走った経路が見やすくなっている。

提案性

避難場所に移動するまでに実際にどのくらいかかるかを自分たちできちんと検証しているところが素晴らしい。実体験に基づく地域への提案であるといえる。

教育効果性

自分たちが住んでいる地域の実状を理解したうえで、児童たちがきちんと考え、どう対応していくべきかを左下にまとめている。地域の一人として、この地域を救いたいという気持ちが児童の中に芽生えていることがわかり、作品にもしっかりと反映されているといえる。



VOICE

【チーム児童のみなさん】

すごい賞をいただいて、とてもうれしいです。マップには、海からきよりがはなれていても、海拔が低いと危ないということもせました。地域の人にこのマップを見てもらって、地震の時に役立ててほしいと思います。

【指導された 畠山 佳之さん】

チーム興空は、海からの距離と海拔とを照らし合わせて危険箇所を割り出しました。周囲が山に囲まれ、海が見えない場所でも、津波が来る危険性が高い地域があることがわかりました。児童の創意工夫や地域を救いたいという想いが込められています。

応募状況

表中の緑文字は、入賞7作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
北海道	13	148	別海町立上春別小学校／札幌市立桑園小学校／帯広希望の星 ふれあい教室／ 苫小牧市立美園小学校 4年生／札幌市立西宮の沢小学校／枝幸町立枝幸小学校／ 札幌市立幌北小学校／奥尻町立青苗小学校／長沼町立長沼舞鶴小学校／札幌市立新琴似緑小学校／ 札幌市立屯田西小学校／苫小牧市立拓勇小学校／苫小牧市立澄川小学校
青森	2	35	青森市立沖館小学校／八戸市立根岸小学校
岩手	12	17	矢巾町立徳田小学校 東徳田二区子供会 1班 2班／ガールスカウト岩手県第14団／ ガールスカウト岩手県第20団／坂水少年消防クラブ／花巻市立桜台小学校／渋民1子供会／ 南仙北地区 南仙北2・3丁目子ども会／紫波町立彦部小学校 4年生 大巻チーム・彦部チーム／ 紫波町立水分小学校 4年生 西グループ・東グループ／紫波町立赤石小学校 桜町南通り子供会／ 境田一区子供会／境田二区子供会
宮城	10	38	山元町立山下第一小学校／大崎地域広域行政事務組合加美消防署／角田市東根ふるさと発見隊／ ながまち学びネット／名取市立不二が丘小学校 不二しょうぼうず／美里町立青生小学校／ 大崎市立鳴子小学校／石巻市立鹿妻小学校／仙台市若林区木ノ下少年消防クラブ／ 仙台市立高森東小学校
秋田	2	5	鹿角市立花輪北小学校／鹿角市立花輪小学校
山形	2	2	ボーイスカウト山形第43団カブスカウト隊・ビーバースカウト隊／遊佐町立西遊佐小学校
福島	2	2	相馬市川原町児童センター／MSH福島
茨城	4	16	やちよエコキッズ／坂東市立中川小学校／つくば市立荃崎第三小学校／神栖市立矢田部小学校
栃木	4	24	ボーイスカウト小山第3団／壬生町子ども会育成会連絡協議会／佐野市立田沼小学校／若草子ども会
群馬	9	26	富岡市立黒岩小学校／ガールスカウト群馬県第34団／渋川市立渋川南小学校／ 高崎市立上郊小学校／高崎市立金古小学校／しぜん教育研究学園学童保育所「スワンズ・キッズ」／ 高崎市立西小学校／ガールスカウト群馬県第76団／大泉町北児童館 ひまわりクラブ
埼玉	23	152	ボーイスカウトさいたま第1団カブ隊／草加市立稲荷小学校／ボーイスカウト所沢第1団カブ隊／ 越谷市立宮本小学校／ボーイスカウト草加第3団カブスカウト隊／川口市立新郷小学校／ ボーイスカウトさいたま第212団カブスカウト隊／ボーイスカウト狭山第2団カブ隊 白組・赤組／ ボーイスカウトさいたま第9団カブ隊／ボーイスカウト川口第19団カブスカウト隊／ ボーイスカウトさいたま第101団カブスカウト隊／入間市消防少年団／ ボーイスカウトさいたま第104団カブ隊／ボーイスカウト川口第15団カブスカウト隊／ 草加市立清門小学校／杉戸町立高野台小学校／ボーイスカウト草加第7団／ 富士見市立水谷東小学校／ボーイスカウト桶川第1団カブスカウト隊／川口市立芝児童センター／ 上尾市立上平北小学校／鴻巣市立笠原小学校／羽生市立川俣小学校
千葉	19	146	船橋市立習志野台第一小学校／千葉市立若松台小学校／ ガールスカウト千葉県第20団 ジュニア・スマイルパトロール／ガールスカウト千葉県第32団／ ガールスカウト千葉県第3団／千葉市立花見川第二小学校／浦安市当代島公民館／ 市川市立富貴島小学校／市原市立国分寺台東小学校／神崎町立神崎小学校／香取市立神南小学校／ 市原市立光風台小学校／ほたる子ども会／千葉市立さつきが丘東小学校／市原市立姉崎小学校／ 船橋市立芝山西小学校／茂原市立中の島小学校／いすみ市立大原小学校／市原市立水の江小学校

第9回「小学校のぼうさい探検隊マップコンクール」入選作品集

※団体名を略称表記とさせていただいている場合がありますが、何卒ご了承ください。

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
東京	68	427	福生消防少年団/麻布消防少年団/赤羽消防少年団/大田区立大森第一小学校/ 江東区立毛利小学校/目黒区立油面小学校/練馬区立八坂小学校/台東区立台東児童館/ 城東消防少年団/調布市立第一小学校/杉並区立天沼小学校/光が丘消防少年団/ 江戸川区立第六葛西小学校/狛江消防少年団/野方消防少年団/矢口消防少年団/板橋消防少年団/ 玉川消防少年団/豊島区立富士見台小学校/本田消防署 消防少年団/足立消防少年団/ 葛飾区立青戸小学校/荒川消防少年団/多摩市立西愛宕小学校/国分寺消防少年団/ 神田消防少年団/ちよだボランティアセンター/日野消防少年団/牛込消防少年団/ 中野消防少年団/港区立青南小学校 第三学年/本郷消防署 消防少年団/ 原町住区住民会議 青少年部/八王子市立由木西小学校/清瀬消防少年団/ 江戸川区立西小岩小学校/大田区立洗足池小学校/江戸川区立上小岩小学校/ 江東区立元加賀小学校/江戸川区立二之江第三小学校/昌平一門前仲町徒歩帰宅訓練隊/ 京橋消防少年団/西東京消防少年団/北区立としま若葉小学校/目黒消防少年団/青梅消防少年団/ 日本橋消防少年団/石神井消防少年団/多摩消防少年団/江東区立東川小学校/ ボーイスカウト墨田第8団/小石川消防少年団/北区立堀船小学校/ ちよだ・ぼうさい探検隊実行委員会/杉並区立杉並第十小学校/東京都立城南特別支援学校/ 千代田区立麹町小学校 ワーク・わく・クラブ/板橋区立高島第一小学校/立川市立南砂小学校/ 小宮久保子供会/板橋区立志村第三小学校/練馬区立大泉学園小学校/中野区立新井小学校/ 浅草消防少年団/文京区立指ヶ谷小学校/日野市立日野第六小学校/小金井消防少年団/ 江戸川区立第二葛西小学校
神奈川	18	94	横浜 YMCA 東かながわ放課後児童クラブ/横浜市保土ヶ谷区青少年指導員協議会 岩井町原地区/ 湯河原町子ども育成団体連絡協議会/厚木市立清水小学校/梅田地区パークスクエア子ども会/ 相模原市立富士見小学校/厚木市立森の里公民館 地域子ども教室/ガールスカウト神奈川第3団/ 横浜市立太尾小学校/海老名市少年消防クラブ/学童保育 南瀬谷なかよしホーム/ 茅ヶ崎東海岸地区 伊勢本家/伊勢原市比々多地区 笠窪子ども会/ ボーイスカウト相模原第11団カブ隊/ボーイスカウト箱根第4団/ボーイスカウト小田原第12団/ ガールスカウト神奈川第53団/茅ヶ崎市立浜須賀小学校
新潟	3	9	塩沢金城わかば児童館/ 燕市小中川児童館・白山町児童館・西燕児童館・秋葉町児童クラブ/ ボーイスカウト新潟第15団カブスカウト隊
富山	1	4	富山大学 人間発達科学部
石川	4	4	ガールスカウト石川県第6団/ガールスカウト石川県第5団/ 加賀市立庄小学校/金沢市金石町校下 上浜町町会子ども会
福井	8	32	明新地区 キッズ探検隊/越前市武生西小学校 PTA/勝山市立村岡小学校/坂井市立春江東小学校/ 坂井市立磯部小学校/坂井市立雄島小学校/あわら市本荘小学校/あわら市細呂木小学校
山梨	1	1	ボーイスカウト富士吉田第1団ビーバー隊
長野	4	13	安曇野防犯協会連合会/ガールスカウト長野県第34団/白馬村立白馬南小学校/ 箕輪町立箕輪中部小学校
岐阜	6	17	郡上市立西和良小学校/北方町立北方西小学校 3年1組のおともだち/桜尾地区 上ノ洞子ども会/ 岐阜市立合渡小学校/ガールスカウト岐阜県第3団ジュニア部門/高山市立本郷小学校
静岡	11	108	静岡市立清水興津小学校/ガールスカウト静岡県第24団/ ガールスカウト静岡県第34団/ガールスカウト静岡県第45団/ 静岡市立清水飯田小学校/静岡市立井宮北小学校/藤枝市立藤岡小学校/富塚地区少年消防クラブ/ 天竜地区少年消防クラブ/小島防犯・交通安全パトロール/焼津市立焼津西小学校

応募状況

表中の緑文字は、入賞7作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
愛知	12	47	飛島村子ども会／ガールスカウト愛知県第73団／名古屋市中村区 則武学区連絡協議会／名古屋市立村雲小学校／刈谷市立朝日小学校／老松KFG／名古屋市中区 名城キッズファイヤーガード／橘キッズファイヤーガード／半田市立成岩小学校 3年／ガールスカウト愛知県第66団／豊田市立足助小学校 4年生／ボーイスカウト大治第1団カブ隊
三重	11	55	四日市市日永地区 大瀬古町子保育成会／かもっこ放課後子ども教室／あらっこ放課後子ども教室／津市立栗真小学校／東員町立稲部小学校／鈴鹿市立若松小学校／鶴方少年消防クラブ／志摩市立安乗小学校／船越少年消防クラブ／鳥羽市安楽島子ども会／鈴鹿市立白子小学校
滋賀	4	4	野洲市社会福祉協議会篠原学童保育所 かめっこクラブ／顕了寺 日曜学校／ひなぎく学童クラブ／わんぱくプラザ笠縫 子ども実行委員会
京都	3	11	京都市立砂川小学校／城陽少年消防クラブ／山田キッズ5
大阪	15	70	東大阪市立縄手東小学校／ボーイスカウト大阪第70団カブ隊／五箇荘東小学校放課後ルーム／清見台自主防災委員会／高槻市立南平台小学校 3年生／東三国丘小学校放課後ルーム／堺市立中百舌鳥小学校 放課後ルーム／貝塚市立中央小学校／高槻市立赤大路小学校／高槻市立富田小学校／ボーイスカウト吹田第12団カブ隊／豊中市立庄内小学校／ガールスカウト大阪府第21団／豊中市立東豊台小学校／大阪市立三軒家西小学校
兵庫	11	65	姫路市立英賀保小学校／美方広域消防本部BFC・香美町立柴山小学校／神戸市立若宮小学校／高砂市立高砂小学校／よつばひろば 藤原台 防犯防災福祉コミュニティー／神戸市立神戸諏訪山児童館／三木市立別所小学校／伊丹市立人権啓発センター「ふらっと」児童館スマイルクラブ／大観レインボーキッズ／三木市立口吉川小学校／洲本市立由良小学校 防災たんけん隊
奈良	3	5	ボーイスカウト生駒第4団カブスカウト／ガールスカウト奈良県第20団／ガールスカウト奈良県第22団
和歌山	2	8	広川町立広小学校／かつらぎ町丁ノ町児童館
鳥取	1	2	わくわく探検隊2012
島根	2	7	下熊谷ふれあい会／地域自主組織新市いきいき会
岡山	1	11	平津学区安全安心ネットワーク
広島	16	78	北広島町立南方小学校／広島市立久地小学校／福山市立野々浜小学校／呉市立豊小学校／広島市立小河内小学校／廿日市市立浅原小学校／府中町少年少女消防クラブ／広島市立日浦小学校／広島市立瀬野小学校／広島市立大芝小学校／大竹市立栗谷小学校／大竹市立大竹小学校／大竹市立阿多田小学校／大竹市立穂仁原小学校／大竹市立玖波小学校／大竹市立小方小学校
山口	6	9	下関市立関西小学校／チームちよるる／下関市立豊浦小学校／下関市立吉母小学校／柳東地区 白湯東一子ども会／下関角小探検隊
徳島	9	33	海陽町立穴喰小学校／辻小学校 5年／吉野川市立上浦小学校／牟岐町立牟岐小学校 防災委員会／鳴門市明神小学校／美馬市立脇町小学校／小松島市立芝田小学校／阿波市立市場小学校／牟岐町立河内小学校
香川	7	20	高松市立牟礼南小学校／丸亀市立城辰小学校／町田東地区 あずま子ども会／白方地区児童館／高松市大野コミュニティセンター生涯学習講座「まめっこ広場」受講生／高松市立屋島小学校／綾川町立昭和小学校

第9回「小学校のぼうさい探検隊マップコンクール」入選作品集

※団体名を略称表記とさせていただいている場合がありますが、何卒ご了承ください。

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
愛媛	12	43	西条市立吉井小学校／西予市立狩江小学校／宇和島市立蔭淵小学校／愛南町立福浦小学校／愛南町立船越小学校／松山市立和気小学校／愛南町立東海小学校／宇和島市立三浦小学校／八幡浜市立宮内小学校 少年消防クラブ／八幡浜市立江戸岡小学校／愛南町立柏小学校／愛南町立平城小学校
高知	4	10	南国市立大湊小学校／安芸市立伊尾木小学校／四万十町立興津小学校／土佐清水市立下ノ加江小学校
福岡	10	30	八女市少年消防クラブ／わくわくドキドキぼうけん隊／ガールスカウト福岡県第23団／八女市立花少年消防クラブ／ガールスカウト福岡県第5団／福岡市立福浜小学校／北九州市立ひびきが丘小学校 3年生／北九州市福祉事業団風師児童館／北九州市立藤木小学校／ガールスカウト福岡県第18団
佐賀	3	4	東山代少年陸上少年消防クラブ／黒川町深山地区牟田子供会／高砂団地自治会
長崎	3	8	松川三組子供会／三原小学校区 青少年育成協議会／南島原市立深江小学校
熊本	1	1	熊本大学教育学部附属小学校
大分	4	10	佐伯市佐伯児童館／吉野校区児童育成クラブ／佐伯市立名護屋小学校／高瀬少年消防クラブ
宮崎	2	13	延岡市立延岡小学校／ゆりかごヶ岡保育園
鹿児島	3	18	出水市立高尾野小学校／鹿児島市立牟礼岡小学校／伊仙町立阿権小学校
沖縄	46	136	那覇市若狭児童館／沖縄市あげだ児童館／浦添市立まちなど児童センター たけの子クラブ／西原町立西原東小学校／沖縄市福祉文化プラザ児童センター／学童クラブ ネバーランド／浦添市立西原児童センター／宜野湾市立新城児童センター／ガールスカウト沖縄県第41団／宮古島市立東小学校／役所前児童クラブ／糸満市立糸満がしゅまる児童センター／那覇市立大名小学校／那覇市立真嘉比小学校／那覇市立国場児童館 キッズチャレンジクラブ／宮古島市立池間添児童館／那覇市立開南小学校／石垣市立大浜小学校／那覇市立天久小学校／宮古島市立佐良浜小学校／浦添市立浦城っ子児童センター／東風平小学校 PTA／浦添市立宮城ヶ原児童センター／那覇市久場川児童館／那覇市久茂地児童館／糸小男子ミニバスケット／糸満市立西崎太陽児童センター／兼城ハイツ支部子ども育成会／糸満市立兼城小学校 座波支部 座波鯉のぼりの会／糸満市立兼城小学校 武富支部子ども会／糸満市立兼城小学校 賀数子供会／糸満市立兼城小学校 賀数宿舍支部子ども会／那覇市立金城小学校／みらい子育てネットこのゆびと～まれ！／石垣市立石垣小学校／糸満市立真壁小学校／なかよし学童／ちびっこらんど／ひばり学童／ふたば学童／城辺学童／みなみ童夢／おやこぼし学園／みどりまち児童センター／浦添市立うらそえぐすく児童センター／北谷町立北谷第二小学校

今回のマップコンクールに「参考作品」としてのご応募や活動報告をいただいた学校・団体は以下です。小学生だけでなく、さまざまな年齢層の方々が主体となってこの活動にご参加されています。

参考作品

中村区災害ボランティアネットワーク(愛知県)／栃木県子ども会連合会／神奈川県子ども会連合会／ボーイスカウト鳩ヶ谷第1団(埼玉県)／奈良県立奈良朱雀高等学校／鍋横区民活動センター運営委員会(東京都)／神保町地区地域コミュニティ活性化事業実行委員会(東京都)

過去の入選一覧

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体 (第4回～第8回まで)

※「」内はチーム名です

参加団体数 マップ数・児童数	第4回(2007年度) 257 団体 (159校・98 団体) 1,374 作品 10,497 名	第5回(2008年度) 241 団体 (143校・98 団体) 1,235 作品 9,322 名
文部科学大臣賞	浜松市立伊平小学校 「チーム女子刑事セブン」 (6年生・静岡県)	備前市立神根小学校 「神根レンジャーバスターズ」 (3～4年生・岡山県)
防災担当大臣賞	四万十町立興津小学校 「興津っ子」 (6年生・高知県)	守山市ふけ町ふるさとクラブ 「ふけ町ふるさとクラブ夜回り隊 2008」 (6年生・滋賀県)
消防庁長官賞	あわら市細呂木小学校 「細呂木守っ隊」 (5年生・福井県)	鳥羽市安楽島こども会 「安楽島キッズ探検隊」 (6年生・三重県)
まちのぼうさいキッズ賞	斜里町立峰浜小学校 「シマトツカリぼうさい探検隊」 (1～6年生・北海道)	徳島市立富田小学校 「さわやかマップ隊」 (5年生・徳島県)
未来へのまちづくり賞	新温泉町立春来小学校少年消防クラブ 「春来小学校ぼうさい探検隊」 (1～6年生・兵庫県)	ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」 (6年生・長野県)
わがまち再発見賞	ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」 (5～6年生・長野県)	別府市光の園子どもクラブ 「光の園安全隊」 (5年生・大分県)
ぼうさい探検隊賞	上富良野町少年消防クラブ 「ひなん所メグレんジャー」 (4～6年生・北海道)	三好市立佐野小学校 「S.B.8(さの・ぼうさい・エイト)班」 (5～6年生・徳島県)
審査員特別賞	さいたま市立高砂小学校 「高砂小学校安全委員会」 (6年生・埼玉県)	青森市立沖館小学校 「三好のみんなを守り隊」 (4年生・青森県)
	立川市立第十小学校 「十小GOGOたんけん隊」 (3～6年生・東京都)	石巻市立石巻小学校 「石小防災探検隊」 (6年生・宮城県)
	松本市立岡田小学校 「探検ファイヤー」 (4年生・長野県)	相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ 「かもめ防災探検隊」 (3年生・福島県)
	守山市ふけ町ふるさとクラブ 「ふけ町ふるさとクラブ夜回り隊」 (5～6年生・滋賀県)	金沢市立森山町小学校 「金沢市立森山町小学校4年1組」 (4年生・石川県)
	大津市南郷学区チェリーファイターズ 「チェリーファイターズ」 (3年生・滋賀県)	浜松市立伊平小学校 「伊平安全パトロール隊」 (4～5年生・静岡県)
	生駒市桜ヶ丘小学校区 こどもじま子ども会 「ぼうさい探検隊」 (3～4年生・奈良県)	香美町立小代小学校少年消防クラブ 「小代っこぼうさい探検隊」 (4年生・兵庫県)
	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (5年生・三重県)	愛南町立東海小学校 「岩水防災キッズ」 (5～6年生・愛媛県)
	和歌山市立四箇郷北小学校 「四箇北パワフルズ」 (4年生・和歌山県)	四万十町立興津小学校 「オキトラ」 (6年生・高知県)

第9回「小学校のぼうさい探検隊マップコンクール」入選作品集

第6回 (2009年度) 297 団体 (155 校・142 団体) 1,389 作品 9,954 名	第7回 (2010年度) 317 団体 (160 校・157 団体) 1,607 作品 10,291 名	第8回 (2011年度) 344 団体 (158 校・186 団体) 1,643 作品 10,791 名
浜松市立久留女木小学校 「チューチュー久留女木隊」 (3～4年生・静岡県)	宇和島市立蔦淵小学校 「蔦淵キッズ5」 (6年生・愛媛県)	宇和島市立蔦淵小学校 「大島守り隊ガールズ」 (6年生・愛媛県)
三好市立佐野小学校 「佐野防災8」 (5～6年生・徳島県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (2・4・6年生・三重県)	相馬市川原町児童センター 「みつばち・かもめ防災探検隊」 (3年生・福島県)
ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」 (1～2年生・長野県)	目黒消防少年団 「目黒消防少年団ぼうさい探検隊」 (1・3・4年生・東京都)	日本橋消防少年団 「阪本シスターズ」 (5年生・東京都)
府中町少年少女消防クラブ 「府中町少年少女消防クラブ」 (3～5年生・広島県)	相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 (2～3年生・福島県)	ガールスカウト日本連盟千葉県第3団 「ミラクルレインボー」 (5～6年生・千葉県)
守山市ふけ町ふるさとクラブ 「びわこスマイルガールズ2009」 (4年生・滋賀県)	日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「カブスカウト隊」 (3～5年生・埼玉県)	あわら市吉崎小学校 「吉崎赤手ガニ防災隊」 (4～6年生・福井県)
高松市立栗林小学校 「みんな安心手だすけマスターズ」 (3年生・香川県)	高島市マキノ町辻区子供会 「つじっ子防災探検隊」 (1～6年生・滋賀県)	那覇市久場川児童館 「いっぺいじょうとう」 (1年生・沖縄県)
鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (5～6年生・三重県)	大崎市松山地域ぼうさい探検隊 「コスモロード」 (5～6年生・宮城県)	別海町立上春別小学校 「上春キッズ探検隊」 (3年生・北海道)
大崎市立三本木小学校防災探検隊 「三本木小学校防災探検隊」 (5年生・宮城県)	東海村立白方小学校 「仲よし3人組」 (4年生・茨城県)	東海村立白方小学校 「仲よし3人組」 (5年生・茨城県)
日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「カブスカウト隊」 (3～5年生・埼玉県)	あわら市金津小学校 「金津っ子7」 (5年生・福井県)	日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「カブスカウト隊」 (4～6年生・埼玉県)
輪島市立鳳至小学校 「鳳至見守りキッズ」 (6年生・石川県)	守山市ふけ町ふるさとクラブ 「びわこびよんびよんスターズ2010」 (5年生・滋賀県)	目黒消防少年団 「目黒消防少年団」 (1～6年生・東京都)
浜松市立伊平小学校 「伊平の安全守り隊」 (5～6年生・静岡県)	吹田市立桃山台小学校 「桃小安全キッズ」 (3年生・大阪府)	ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」 (3～5年生・長野県)
美方広域消防本部BFC香美町立佐津小学校 「命を守る佐津っ子レスキュー隊」 (4年生・兵庫県)	かつらぎ町丁ノ町児童館 「ハッピーかつらぎっ子」 (6年生・和歌山県)	船越少年消防クラブ 「船越少年消防クラブまちなか探検隊」 (4～6年生・三重県)
愛南町立東海小学校 「岩水防災キッズ」 (5～6年生・愛媛県)	下関市立豊浦小学校 「しものせきいしんたんけんたい」 (1年生・山口県)	城陽少年消防クラブ 「城陽少年消防クラブ」 (6年生・京都府)
四万十町立興津小学校 「マタサカナ」 (6年生・高知県)	高瀬少年消防クラブ 「高瀬少年消防クラブ」 (4年生・大分県)	土佐清水市立下ノ加江小学校 「なかよし4人組」 (5年生・高知県)
北九州市立広徳小学校 「広徳小学校4-1 2列」 (4年生・福岡県)	那覇市久場川児童館 「のびのびクラブ」 (2年生・沖縄県)	奄美市立大川小学校 「奄美大川防衛隊」 (5～6年生・鹿児島県)

これまで9年間のマップコンクールにおいて、継続的にご応募をいただいている小学校・団体（9回のうち6回以上のご参加）は以下です。

応募回数	学校・団体名
9回連続	愛知県豊田市立足助小学校
8回	福島県相馬市川原町児童センター／茨城県坂東市立中川小学校／ 東京都江戸川区立西小岩小学校／三重県鳥羽市安楽島子ども会
7回	岩手県南仙北地区 南仙北2・3丁目子ども会／東京都江東区立東川小学校／ 神奈川県相模原市立富士見小学校／ガールスカウト大阪府第21団
6回	北海道札幌市立桑園小学校／埼玉県草加市立小山小学校／ 埼玉県草加市立新田小学校／東京都江戸川区立第六葛西小学校／ 東京都大田区立洗足池小学校／東京都葛飾区立青戸小学校／ 東京都千代田区立麴町小学校 ワーク・わく・クラブ／ガールスカウト神奈川県第53団／ 神奈川県横浜市保土ヶ谷区青少年指導員協議会 岩井町原地区／ ボーイスカウト富士吉田第1団ビーバー隊／ガールスカウト静岡県第34団／ 愛知県豊田市立五ヶ丘小学校／愛知県飛島村子ども会／ 広島県府中町少年少女消防クラブ／高知県四万十町立興津小学校／ 長崎県南島原市立深江小学校

5回以上のご応募は、上の25校・団体を加えると48校・団体となっています。
今後もぜひ、継続して取り組んでいただければ幸いです。

損害保険の「原点」に立ち返り、未来への礎に

～国民生活・経済をバックアップする損害保険をより強い、確かな、信頼されるものにするために～

一般社団法人日本損害保険協会 会員会社一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	ジェイアイ傷害火災保険株式会社	日新火災海上保険株式会社
アイペット損害保険株式会社	セコム損害保険株式会社	日本興亜損害保険株式会社
朝日火災海上保険株式会社	セゾン自動車火災保険株式会社	日本地震再保険株式会社
アニコム損害保険株式会社	ソニー損害保険株式会社	日立キャピタル損害保険株式会社
イーデザイン損害保険株式会社	株式会社損害保険ジャパン	富士火災海上保険株式会社
エイチ・エス損害保険株式会社	そんぽ24損害保険株式会社	三井住友海上火災保険株式会社
SBI損害保険株式会社	大同火災海上保険株式会社	三井ダイレクト損害保険株式会社
au損害保険株式会社	東京海上日動火災保険株式会社	明治安田損害保険株式会社
共栄火災海上保険株式会社	トーア再保険株式会社	

2013年2月現在（会員会社26社50音順）

一般社団法人 **日本損害保険協会** 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9 URL <http://www.sonpo.or.jp/>
(お問い合わせ) 生活サービス部 TEL: 03-3255-1294 FAX: 03-3255-1236



かけがえない環境と安心を守るために
一般社団法人日本損害保険協会がISO14001を認証取得しています。